

表9 平成9年度重金属類モニタリング調査結果の概要

単位: ng/m³

物質名	地域分類	地点数	検体数	平均	最小	最大
水銀及びその化合物	一般環境	11	53	2.8	2.0	4
	発生源周辺	2	12	2.8	2.8	2.9
	沿道	-	-	-	-	-
ニッケル化合物	一般環境	172	1,104	5.7	1.0	26
	発生源周辺	48	328	23	(2)	393
	沿道	28	176	10	2.4	54
ヒ素及びその化合物	一般環境	166	1,039	2.0	(0.05)	18
	発生源周辺	40	254	2.0	0.2	6.1
	沿道	25	147	2.0	0.22	5.9
ベリリウム及びその化合物	一般環境	152	971	0.17	0.006	0.7
	発生源周辺	37	230	0.10	0.011	0.69
	沿道	25	145	0.087	0.042	0.19
マンガン及びその化合物	一般環境	173	1,113	32	3.6	150
	発生源周辺	44	301	62	13	250
	沿道	28	174	58	19	220
クロム及びその化合物	一般環境	147	925	7.0	(0.3)	46
	発生源周辺	39	253	38	0.8	626
	沿道	23	140	20	0.7	160

(注)括弧書きの数値については、平均値の算出結果が定量下限値未満の値であったことを示す。